

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和 8 年 2 月 2 5 日（水曜日） 午前 1 0 時から午前 1 1 時 3 0 分まで
場 所	中央公民館 講座室
会議件名	令和 7 年度第 4 回 社会教育委員の会議
主な議題	<p>(1) 令和 8 年度社会教育関係団体に対する補助金について</p> <p>(2) 社会教育委員と公民館運営審議会の統合に伴う日野市まなびあい審議会の設置について</p> <p>(3) 統合に伴う社会教育委員の任期延長について</p> <p>(4) 令和 8 年日野市二十歳のつどいについて</p> <p>(5) その他 次回会議について</p>
参加者	<p>社会教育委員 須崎議長、小杉副議長、田代委員、根津委員、山本委員、大瀧議員、清水議員 教育委員会事務局</p> <p>飯倉生涯学習担当参事（ふるさと文化財課長兼務）、大村生涯学習支援課長（中央公民館長兼務）、奥住図書館長、須崎生涯学習支援課主幹（中央公民館副館長兼務）</p>
配布資料	<p>【資料 1】 令和 8 年度社会教育関係団体補助金交付予定一覧</p> <p>【資料 2】 社会教育委員と公民館運営審議会の統合に伴う日野市まなびあい審議会の設置について</p> <p>【資料 3】 日野市まなびあい審議会の設置に関する条例（案）</p> <p>【資料 4】 日野市社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例（案）</p> <p>【資料 5】 令和 8 年日野市二十歳のつどいについて（日野市ホームページより）</p>
結 果	<p>議題の内、(1) (2) (3) については協議の上了承、(4) については報告</p> <p>議題内容は上記参照</p>

<p>主な内容</p>	<p><u>協議・情報共有</u></p> <p>(1) <u>令和8年度社会教育関係団体に対する補助金について</u></p> <p>事務局より、令和8年度の社会教育関係団体補助金の交付予定について、資料1の一覧をもとに説明し意見を交換した。</p> <p>令和7年度と比べて予算の増減があったものについてはその理由や対象団体等についても補足した。アートフェスティバルの補助金が増加した理由については、夏から秋に開催時期が移ったことにより、レンタル資材の取り合いにより経費が高騰していること、一方、夏開催を考えた場合でも熱中症対策を図る必要から、経費が増加していることなどを説明した。</p> <p>委員より、コミュニティ・スクールに関する補助金について質問があり、社会教育関係団体への補助金ではないが、国や都から市へ補助金が出ている事業であることを説明した。</p> <p>(2) <u>社会教育委員と公民館運営審議会の統合に伴う日野市まなびあい審議会の設置について</u></p> <p>資料2をもとに、市議会に提出する資料3の条例案について説明した。前回からの変更点として、審議会名称を、日野市生涯学習推進基本構想・基本計画「日野まなびあいプラン」から引用し、「日野市まなびあい審議会」としたことや、社会教育法の位置付け、社会教育委員や公民館運営審議会の職務の根拠法令などを明記したことを中心に、条例案の説明をした。</p> <p>(委員)</p> <p>第6条の臨時委員について、規則等で選出方法など位置付けを決めた方がよいのではないかと。また、公募の委員の人数は決まっているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>新しい審議会も10人以内で、条例の中で6つの選出区分からの委員で組織すると規定している。公募の方は少なくとも1名は入るとして、学校教育の関係者を小中学校で複数選出することも考えられ、総合的に各委員の人数を決める。</p> <p>(各委員)</p> <p>第3条に関し、新しい審議会委員の選出は、いつ頃、どのように行うのか。公民館利用者を代表する者とはどのような方か。</p> <p>(事務局)</p> <p>4月以降、各関係機関の推薦をいただきながら進める。教育委員会に議案として提出し決定していく。公民館利用者を代表する者とは、利用者交流会の方</p>
-------------	--

や、公民館事業で協働している市民の方を考えている。

(委員)

審議会が統合することで、議題の整理や回数に変更があるか。生涯学習に関する諸計画の今後の予定は。

(事務局)

現状各会議は4回であるが、統合した審議会では6回を想定している。今年度は議題が半分以上重なっていた状況もあり、公民館の事業評価など個別の議題もあるが対応できると考える。

生涯学習推進基本構想・基本計画については、今後は学校教育基本構想と統合し、令和11年度から統合した教育振興基本計画の運用を想定している。

(委員)

東京都市町村社会教育委員連絡協議会の役員、研修会の企画準備等について確認したい。研修会には一般参加もできるとよい。

(事務局)

現在、日野市は副会長で、令和8年度も副会長、令和9年度に会長となり、日野市で会議等を実施することになる。研修会については、令和9年度に日野市が会長市となったときは、全体研修を企画することになる。

(3) 統合に伴う社会教育委員の任期延長について

市議会に提出する資料4の条例案をもとに説明した。4月末までの任期を6月末まで延長し、5月以降新しい審議会に引き継ぐ内容を協議する今期最後の社会教育委員の会議を予定している。

また、任期中に、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の定期総会が小金井市で4月18日(土)にあり、公民館まつりが5月9日(土)と10日(日)にある。

(4) 令和8年日野市二十歳のつどいについて

式典では、誓いの言葉のほか司会進行も二十歳当事者が務め、式典後の二十歳のPR発表では、事前の申込はほとんどなかったものの、20名の二十歳の方がそれぞれ個性ある発表をし、場を盛り上げてくれたことを報告した。

妄想実現課に参加している各委員から、個人差はあるが、若者のプレゼン能力が高くなっている、オリンピックのインタビューでも、十代二十代の若者が上手に話をしていることを感心しているとの話があった。

中学生のときには大ホールの舞台上で発表するとは思われなかった二十歳の

	<p>方も、自ら舞台上に上がっている姿があり、卒業してからの成長に人は生涯にわたって学び続けるという社会教育に通じるものを感じさせた。</p> <p>また、配慮が必要な二十歳の方も含めたみんなが参加できるような工夫をしてほしいとの意見や、人生には想像を超えた余白と学びがあると面白くなるとの意見があった。</p> <p>(5) <u>その他 次回会議について</u></p> <p>生涯学習支援課、ふるさと文化財課、図書館より、以下の直近の事業について報告があり、意見交換した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひのたま ULTLA 成果報告会（生涯学習支援課） ・お雛さまを愛でる会（ふるさと文化財課） ・中央図書館の文化財登録と各館輪番による蔵書点検（図書館） <p>次回の社会教育委員の会議について 今期の最後として、任期を延長した5月以降日程調整の上開催する。</p>
<p>作成者</p>	<p>生涯学習支援課 須崎</p>